

2016年3月13日 主日礼拝 (3.11 5周年記念礼拝)

プレイズ

奏 楽

ヤベツの祈り

賛 美 (ふるさと・うさぎ追いかの山)「我ら夢見・み国は」
(目をあげよ)(心静かに)

聖 書 ペテロの第二の手紙 3章8～13節 (新約P374)
音 楽 アブラハム会

メッセージ 「その響は全地にあまねく」

大川従道牧師

賛 美 「遠き国や」(聖歌397番)(献金・東日本のため)

頌 栄 「主の名を賛美しよう」 アーメン

祝 禱

3.11セレモニー 「花は咲く」 黙禱

「この日、言葉をかの日に伝え、
この夜、知識をかの夜におくる。
語らず言わず、その声聞こえざるに、
その響きは全地にあまねく」
(詩篇十九篇・文語訳)

【町田ニュース】

- ・ 東日本大震災に深い痛みをもって、主の慰めと祝福をお祈りいたします。
- ・ 今日のお茶会は分かち合いです。ビジョン・ミーティングあり(5:20～)
- ・ 祈禱会が水曜夜7時半と木曜10時半(Y)。説教は水曜久保田伝道師。木曜丸藤伝道師。
- ・ 準備祈禱会は金曜夜9～10時半(Y)。説教は石橋雄介補教師。
- ・ 土曜のリバイバル祈禱会は午後4～6時。自由に祈れます。
- ・ 3月21日(祝・月)「春の一日愛修会」。800人の申込みがありました。なるべく相乗りするか、バス・電車のご利用を。
- ・ 4月16日3時から「召天者記念礼拝」。
- ・ 「二つの翼で飛び立つ健康な教会」(キム・ソンゴン著 二つの翼)はこの町田カルバリーの必読書。
- ・ 毎日聖書を読みましょう。新約は1章ずつ、旧約は3章ずつ。通読表で。



畑の中の宝物

2011年3月11日午後2時46分。東日本大震災が起きました。あれから5年。私たちはあの災害を通して、何を学んだのでしょうか。

暗闇に放り出されたあの日。町は闇に包まれ、月明かりだけが輝いていました。私は遂に世の終わりが来たのかと思いました。世の終わりが来ると牧師が語っていたこと、主のみ名を呼び求めれば救われることが思い出され、このような時がくることをもっとみんなに知らせておけばよかった・・と感じていました。「**気をつけて、目を覚ましていなさい。そのときがいつであるか、あなたがたには分からないからである**」(マルコ13:33)。ただ沈黙し、イエス様が今や天から現れるのではないかと待っていたのです。

「**かじられた果実**」は震災直後に大川牧師が語られた珠玉のメッセージ集。読んで恵みを受けました。黙すしかない現実の中で語られた神の言葉です。

エリヤは大風を体験し、地震を体験し、火を体験しましたが、その中でも神様はおられませんでした。そして、その後に静かなる細き御声が聞こえ、エリヤは力をいただいたのです。大切なことは、主の細き静かなる御声を聞き分けるということです…

時々「神も仏もあるものか」とか、「私は神に見捨てられた」という人がいますが、神に見捨てられた人など一人もいないのです。イエス・キリストが代表して見捨てられ、イエス・キリストが代表して呪われたのです…

「だから、みなさん元気を出しなさい」という励ましは、今日の東日本の皆さんに「元気を出してください」というメッセージでもあるのです…

地は混んととしていて、その上に神の霊が覆っていたのです。新しいものを生み出すために、聖霊なる神様が暗闇の中でも、水の上を覆い、動いておられるのです。主のみ名のゆえに、その魂を生き返らせて下さるということです。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:マルコ14章～ルカ1章 Bコース:申命記20章～34章